

「みどり行政に関する要望書」

～六項目～提出



意見交換

注を、また、発注にあつては公共工事の品質工事の品質確保を図るため工事実績、造園に関する各種資格所有者の技術力等の評価⑤一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用⑥校庭及び園庭の芝生化の推進を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工事の造園工事専門業者への発注⑦不正行為の防止と不良不適合業者を排除するため業務実態調査の強化と調査結果の入札制度への反映について、造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れた。

ヒアリングの中で校庭芝生化の取組み状況と課題及び県立高校校庭芝生化の現状、また、街路樹剪定の実情と街路樹剪定モデル箇所等について論議された。

神奈川県造園業協会と日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、七月十日に自由民主党神奈川県支部連合会・自由民主党神奈川県議団へ次の六項目について要望した。

要望事項として、①景気・環境対策として、また、計画的な社会資本の整備保全や災害への対応のためにも防災公園の設置等緑化関連公共事業の予算の確保・増加と受注機会の確保②都市公園の整備や既存都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の積極的推進③三浦半島地域への国営公園の誘致活動の積極的な推進④公園・緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設等のうち造園に関する整備及び維持工事は地域の実情に応じて分離し特定建設業者である造園専門業者に発



要望書提出

庭守講習会 「石材加工と刃物研ぎ」

平成 24 年 6 月 10 日、都筑 JA において、今年度としては 2 回目の庭守講習を行いました。

今回は自分たちで設計した課題に沿って延段や蹲踞を作る予定でしたが、入梅直後ということもあり前日の準備段階から降り続いた雨で会場がぬかるんで使えないと判断し、予定を変更して「石材加工道具の使い方」と「刃研ぎ」についての講習となりました。

予想に反して朝からよく晴れて暑い陽気でしたが、「雨降りに室内で出来る作業」の一例として意義のある講習になったと思います。

講師は石造物に造詣の深い川田造園の川田秀一氏です。



石材加工道具の使い方



石材加工道具の種類

まず午前中は「石材加工道具の使い方」について学びました。シート一面に並べられた道具の名称と使い方の説明を受け、その後それらを実際に使って石材の加工に各自挑戦しました。

セットウの打撃面は焼きが入った面とそうでない面とがあり、使い分けが必要なことなど、中には高価な道具もあるのが正しい使い方から学びます。セットウと合わせて使うコヤスケも用途によって大きさや形が異なり、より良い加工をするためには何種類か必要だと知りました。鑿(ノミ)

もまた種類が多く先に超硬合金(タンガロイ)が付けられているものから文字彫り用の先ノミまで大小様々です。炭素鋼製のナマノミは仕事前に焼き入れをして使うそうので、タンガロイが無かった時代の職人は大変だったろうと想像させられます。

これらの道具を使って実際に石材を加工してみます。用意して戴いた白御影の石板や短冊石をこぶ出しやビシャン、小叩きなどに仕上げるグループ、丹波石や鉄平石を加工して石貼りするグループ、水鉢を彫り込むグループなどに分かれて作業します。水鉢は川田さんが春日灯籠の笠を裏返して



こぶ出し作業



鉄平石を加工した石貼り



水鉢の彫込み



刃物研ぎの実践



手入れの行き届いた刃物

彫った加工途中の題材を持って来てくださり、「みかん彫り」という奥行きに丸みを持たせる水鉢の彫り方に倣って小さいノミと小ぶりのセツトウで彫り進めて行きます。セツトウがちよつとでも淵に当たれば全てが台無しになつてしまうため緊張しながら数人が交代で根気よく作業していました。

午後からは「刃研ぎ」

の講習です。ずらつと並べられた川田講師の鋏や鉋の美しいこと。一見でその切れ味が想像できる手入れの行き届いた道具ばかりです。「刺身も切れる包丁で調理する」とおいしい。庭木だつて切れ味の悪い鋏で切られた方が嬉しいに決まっています。」川田さんの仕事に対する信念が伝わってきます。

持参した刈り込み鋏や木鋏を各々が研ぎ出します。剪定鋏や鎌などの曲線的な刃物は細かい砥石を使って研ぎます。割れた砥石なども捨てずに取っておくものだと思ひました。他の仲間が使っている道具にも興味湧き、情報交換にも花が咲いていました。

「刃物を研ぐことは、自分を研ぎ澄ますこと。道具の手入れは怠るな。」との川田さんの言葉は今さらながら心に響きました。

実作業の予定を変更したにも関わらず晴れてしまいちよつともつたない一日になってしまいました。雨が降りや手待ちの時に十分活かせる講習であり、どちらの内容も自ら実践して積み重ねていくべき課題です。一回の講習で「なるほど」と言つて終わらせることなく、日々の研鑽に繋げて行きたいものです。

情報委員長 木下 透



完成品の前で記念写真

当協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で二十四年度第一回目の病害虫防除講習会を実施しました。

第一回目は、七月四日かながわ県民活動サポートホールに於いて実施され百五十五(会員七十名、行政十九名、その他六十一名)が参加し、講習会は、約二時間半に亘り「農業の適正使用と安全管理」について農業技術センター病害虫防除部副技術官伊部有一氏より、「住宅地における公園・街路樹等の防除技術」について(社)緑の安全推進協会千野義彦氏より事例を示しながら講義されました。

この講習会は、農業散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所が認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会です。出席者には、当日各自に「修了証」が渡されました。

第二回目は、平成二十五年二月一日神奈川県平塚合同庁舎に於いて実施する計画で現在受講希望者を募集しています。申込希望者は協会にお問い合わせください。

なお、詳細は神造協ホームページに掲載しております。

病害虫防除講習会 開催
安全で適正使用を心がける大切さ



山田支部長表彰状授与

「第五回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式開催

(一社)日本造園建設業協会神奈川県支部主催の「第五回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式が五月十八日、ホテル横浜ガーデンで催されました。

今回で五回目を数え、応募総数二〇七点、新設された「街路樹選定優秀賞」に十二点の応募がありました。

藤井英二郎千葉大学教授、大原雅彦元神奈川県新聞写真部長、山田支部長の審査員により最優秀賞・優秀賞各一点、入選五点、佳作十点、特別賞として神奈川県知事賞、神奈川県議会議長賞、街路樹選定優秀賞等二十作品が選定され、表彰式では、大河原審査委員より各賞の講評が延べられ、続いて表彰式に移り、山田支部長より、「新緑まぶしい散歩道」最優秀賞を



▲街路樹剪定優秀賞 「銀杏並木」(生駒造園土木(株))



▲最優秀賞 「新緑まぶしい散歩道」(石井 清一)

石井清一氏、「秋を惜しむ」優秀賞を室井義雄氏に、引き続き各賞に賞状と賞金が授与されました。

石井氏の作品は、「みずみずしいほどの新緑の美しさと、緑の濃淡の変化を望遠気味のレンズで捉え、樹木の根元を覆う植え込みの新緑も効果的」と選評されました。

今回から新設された「街路樹剪定優秀賞」には、「生駒造園土木(株)」の「銀杏並木」が選ばれ、「剪定技術は樹高の統一・枝の後援を得て「第六回かながわ街路樹フォトコンテスト」の作品を募集しておりますので多数の応募をお待ちしております。

今年も、国土交通省関東地方整備局横浜並びに相武国道事務所、神奈川県・横浜市・川崎市・神奈川県新聞社、テレビ神奈川、NHK横浜放送局の後援を得て「第六回かながわ街路樹フォトコンテスト」の作品を募集しておりますので多数の応募をお待ちしております。

「第五回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式開催

